

維新問われる反人権体質

ウイシュマさん侮辱 梅村議員の暴言



梅村参院議員

記者会見する（右から）遺族のポールニマさんとワヨミさん、支援する弁護士ら＝17日、東京都千代田



維新の梅村みずほ参院議員による、入管施設でのウイシュマ・サンダマリさんの死亡を巡る暴言。維新の責任も問われます。

死者の尊厳・遺族の心情踏みにじる

梅村氏は、施設で適切な医療的対応も介助も受けられないまま死亡したウイシュマさんに「詐病の可能性」という侮辱の言葉を投げつけました（12日、参院本会議）。死者の尊厳を冒とくし、適切な対応を怠った国の責任を免罪。遺族が遺影を掲げて傍聴している目前での発言で、遺族の

心情を踏みにじるものです。さらに入管法改定を巡る最大の焦点の一つである、戦前の体質を引き継いだままの入管行政の徹底改革という課題から議論をそらせる悪質な発言です。梅村氏と維新自身が古い反人権的体質を引きずっていることを示すものです。

「チェックした」維新の責任は明確

本会議での代表質問は政党を代表するもので、維新の音喜多駿政調会長は「本会議での質問は政調

が最終チェックを行っている」と言っています（17日）。組織的発言であり、維新の責任は明確です。

しんぶん 赤旗

日刊 (毎日配達されます) 月3,497円

日曜版 (毎週配達されます) 月930円

お申し込みはお近くの党事務所か 党員までお願いします

G7広島ビジョン

被爆地から核に固執する 宣言は許しがたい 志位委員長談話

「核抑止論」を公然と

主要7カ国首脳会議（G7広島サミット）は19日、「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」を発表しました。ロシアに対し「核兵器のいかなる使用も許されない」とする一方、自ら保有する核兵器については「侵略を抑止し、戦争と威圧を防止」するものとし、いざというときには核兵器使用をためらわない「核抑止力」論を公然と宣言しました。 共産党の志位和夫委員

長は20日、「被爆地から核に固執する宣言は許せない」との談話を発表。「広島ビジョン」では、「核兵器のない世界」は「『究極の目標』と位置づけられ、永久に先送りされている」と指摘。何より重大なことは「核抑止力」論を公然と宣言していることとして、被爆地広島からこの宣言を行ったことは「恥すべきこと」と厳しく批判しました。



広島市・原爆ドーム

「核禁条約」に参加を「広島ビジョン」は、核兵器の非人道性への批判や告発は一言もなく、核兵器禁止条約への言及もありません。談話では議長国・日本の岸田首相の責

任を問うとともに、日本政府に「核抑止力」論との決別、核兵器禁止条約への参加を強く求めています。

日本共産党

近畿民報

2023年5月 No.4 (第551号) 発行/日本共産党国会議員団 近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号 Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115 Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。